

# 岐阜県 中小企業情報

2010  
4・5

vol.606

発行：2010年5月25日



中央会理事会

## 目次

中央会の動き	2~4
組合等の動き	4
東濃支所だより／青年中央会通信	5
景況レポート(4月末調査)	6~7
会員組合紹介(頑張っている仲間達)	8
専門家's EYE	9
再生等支援事業のご案内等	10
事務局だより	11
岐阜県中小企業応援センターのご案内	12

[発行所]

**岐阜県中小企業団体中央会**

岐阜市藪田南5丁目14番53号 岐阜県民ふれあい会館 8階  
TEL 058-277-1100(代) FAX 058-273-3930  
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

## 【事務局代表者懇談会・交流会を開催】

中央会は、3月に県下3会場(岐阜・東濃・飛騨)で事務局代表者懇談会・交流会を開催し、組合の現況や今後の中央会事業に対するニーズ、国等への要望等に関する意見が発表された。出席者からの意見等の要旨は次のとおり。(発表順)

### 《岐阜会場》3月10日(水)・グランヴェール岐山(岐阜市)

**岐阜県印刷(工組)** 組合員からの賦課金収入が減り、資金繰りが大変困難な中で、中央会から助成金のお話をいただいた。今後もそのような情報提供などご支援をいただきたい。

**川崎岐阜(協)** 新卒の学生の雇用対策が行われているが、国、県ともに同じような制度である。窓口を1つにして、各企業が利用でき、失業者の再就職も含めて機能する助成金の制度にしてもらいたい。

**岐阜県刺繍(工組)** 今回特に要望というよりも皆さまのご意見を聞き、勉強させてもらい、参考にしたい。

**岐阜県可児工業団地(協)** この経済情勢下で非常に厳しい経営が続いており、昨年は一昨年と比較して稼働率が3割落ちている。円高で経営は海外に拠点を移さざるを得ない→国内の設備投資が落ち込んでいる→雇用も落ち込んでいくという負のスパイラルに陥っているのではないかと。

**岐阜県ニット(工組)** 各社が控え目にモノづくりをしていたこともあるが、今年の1、2月の寒さで、製品はほぼ売上に近い状況。

**岐阜県砕石(工組)** 公共事業の減少により低迷している。現在、自動車関連のガソリン税、軽油税が廃止された後、環境税を全体に課税することが検討されているが、これは砕石業のみならず、全産業に及ぶと思われるため、産業に影響を及ぼさないような課税をしてもらいたい。

**関連合刃物(協)** 現在、組合にはトヨタ自動車の下請けや、金型製造、金属加工など様々な業種が入っている。金融事業等の利益の上がない不要な事業はなくし、組合は収益が上がっている。刃物関係は海外に進出するなど非常に頑張っている。

**可児市建設業(協)** 建設業は大変厳しい状況であり、今後このような会合で皆さまのご意見を聞きながら、また、業界のためを思いながら組合運営をしていきたい。

**岐阜県土木建築解体事業(協)** 組合員の減少に歯止めがかからず、組合に加入してもらっているメリットが見出せない状況。専門業種としての解体工事業の認可を全国の団体で積極的に働きかけているが、なかなか認められない。それが公共工事等に影響しているのではないかと。

**岐阜県プラスチック(工組)** 原油価格の変動は、成型を行っている製造業はもとより、プラスチックの再生業者が最も影響を受けた。最近の調査では、大企業では売上が上がってきているという声を聞くが、中小企業ではまだそこまで至っていないと感じる。他の組合でこうしたら活発になったという事例があったら教えていただきたい。また、国の補助金一覧のようなものを作っていただけたらありがたい。

**岐阜県飲食(生衛)** 事務局は2人体制と小さく、様々な相談に対応できない。専門的分野の方を無料相談窓口として確保し、事務局窓口を強化して頼られる事務局にしたいと考えているのでご指導いただきたい。

**岐阜デザインプリント(協)** 外国人研修制度が改正され今年7月から施行されるが、私たちの今の状況では研修生事業を継続することが難しい状況なのではないかと思う。

**岐阜県電器(商組)** 組合員数は最盛期に比べ半減。大型量販店が進出してくる中、家電小売事業から撤退し、電気工事への業態転換等により組合員が減少した。地デジテレビの販売はエコポイントにより非常に勢いがついている。一方、来年7月に地デジが見られない“地デジ難民”が出てくる懸念があり、地デジ難民をなくすために、現在「デジタル110番」を展開している。

**岐阜県眼鏡業(協)** 非常に厳しい時代を生き抜くために、個店の基礎体力を強化するための教育事業に力を入れている。

**岐阜県家畜商(協)** 当組合では牛の流通、販売事業をしており、景気が悪くなると同時に取引頭数と取引単価が下がったため、経営に直接影響している。皆さんに牛肉をたくさん食べていただくと大変ありがたい。

**岐阜婦人子供服(工組)** 海外市場への進出として、22年度は上海を中心に中国各地域の市場に参入する。同じ考えの方々とコラボレーションをして行政の力を借りながら市場を開拓していきたい。中央会には、やる気のある方を集めて交流の場を設けていただきたい。

**物流ネットワーク中部(協)** 昨年のリーマンショック以降荷物の取扱量が減少しており、また、企業体力がない中で運輸業者に対する二酸化炭素の削減、安全への対応を求められ、非常に厳しい状況が続いている。中央会の助成金と取り組みは、独自性がないのではないかと。全国中央会ではできないようなその地域の情勢に合った細かい助成ができれば、さらに良いのではないかと。

**岐阜県機械金属商業(協)** 昨年の夏以降、景気が底を打ち、今は少しずつ持ち直している。しかし、組合同士の競争、関西や名古屋地区からの売り込みが厳しいため、組合員同士で話し合いながらその対策を立てている。

**岐阜県旅館ホテル(生衛)** 宿泊産業は価格競争に入り、チェーン店に奪われつつある。温泉街では異業種が参入し、1泊2日の料金が今まで約2万円であったものが1万円を割っている。このため、廃業や組合員の組合離れが進んでおり、こうした中でどのように対応していけばいいか指導いただきたい。

**岐阜県広告美術業(協)** 組合員の脱退に歯止めがかからず非常に厳しい状況。世代交代が非常に激しいが、若い方は組合に入るメリットを感じていない。県内や他県の事例で組合が活性化事例等があれば、ぜひご指導いただきたい。

**岐阜県建築設計監理(協)** 官公需、民間ともに新築物件は激減しており、大変厳しい状況。平成20年に建築基準法が改正され、県の条例で定期報告業務があるが、ユーザーにお邪魔しても、取り組まなければいけないという意識が非常に低い。せつかく県が条例で決めているのなら、必ず実行してもらうことを強く県の方からも建物の所有者に対して提言していただきたい。

**岐阜県清掃事業(協)** 毎年、岐阜県内の42市町村と県の廃棄物対策課の方々が全員で研修会を行っているが、廃棄物処理業界は労働事故が多く、安全強化をしていかなければならない。

**岐阜県銘木(協)** 昨今の経済状況、優良銘木の枯渇、家等を作る人のニーズの変化等により、銘木を使う建物が非常に少なくなってきた。中央会から県や国に対して公共施設等には極力木造化していただくよう働きかけていただきたい。

**岐阜県米菓工業(協)** 景気の後退、組合員の減少で、手数料、組合員からの賦課金等も減少した。政権が変わり、農政も変化した。飼料米や、米粉を作る場合一反につき8万円の補助金がもらえるが、加工米は一反につき2万円の補助金しかもらえない。原材料を安くするために、新規事業米と同じくらい国から補助金をいただきたい。

### 《東濃会場》3月12日(金)・セラトピア土岐(土岐市)

**原陶磁器工業(協)** 東京の建材展に出展。中小企業基盤整備機構からコーディネーターを招き、出展に際し建材展に向けた研修会を開催。その他、タイルを貼る際にモルタルではなく接着剤で貼るように新商品開発をしている。

**市之倉陶磁器工業(協)** 今後、エコは避けられない課題であり、廃陶磁器の処理を考え、岐阜県セラミック研究所とともに新製品開発に取り組んでいる。

**多治見美濃焼卸センター(協)** 世代交代で組合離れが顕著。全国中央会のWeb構築支援事業に取り組んだが、事業内容と中央会のサポートも良かった。研修会の開催が岐阜地域中心であるが、地域のバランスを考慮し、東濃地域でも研修会を開催してほしい。

**肥田陶磁器工業(協)** 組合員の組合事業の利用に偏りがある。地場産業への支援が多方面から数多く出てきているため、組合員に周知しても反応が薄く、利用度が下がっている。

**丸沼釜戸鉦業(協)** 生産量は最盛期の10分の1。組合員も半減したが、生産量はさらに減少している。組合にとって有益な情報はその都度いただきたい。

**土岐市陶磁器卸商業(協)** 組合員283社から149社に減少、売上は3分の1に減少。組合ではセラトピア土岐の指定管理者業務も行っている。地場産業を残すための一歩踏み込んだ支援をしてほしい。

**(協)ケーエスジー** 後継者、若手が減少しており、高齢の組合員の意見しかないため、若い人の意見を聞きたい。

**多治見陶磁器卸商業(協)** 組合員数はここ10年で100社減少し、154社。テーブルウェアショー出展やエコ対策などに取り組んでいる。海外(東南アジア)への販路開拓など、新しい事業を興したい。青年部でも組合事業について検討している。

**多治見市管工事(協)** 規制緩和に伴う水道法改正で地域に事務所が無くても指定店が登録できることとなった。そのため指定店が増え、水道工事等の仕事が減り、競争が激化した。ライフラインに関する業種で、そこで活路を見いだせないかと考えている。

**(協)笠原給食センター** タイル業界が繁盛していた時に九州からの出稼ぎ労働者のための給食事業をスタート。現在1日2,000食を配給。イベントなどの仕出しにも対応するのでぜひ利用してほしい。

**岐阜県花崗岩販売(協)** ネットを使った事業展開としてWeb構築支援事業を活用し、HPを立ち上げたところ、思わぬところから数多くの問い合わせが来ている。22年度も東京ビッグサイトの展示会出展について、全国中央会の支援事業を申し込んだ。これは若い人の意気込みで取り組むこととなった。

**恵那テクノパーク(協)** 下水共同処理、緑地の維持管理等を事業としている。現在組合員は13社。不景気で従業員も減ったが仕事は回復してきている。

**(協)陶街道** 外食産業にどんぶりを売ることに注力している。卸売業と言うより、展示会に出て販売に結びつけた営業をしている。展示会に来る人は少なかったが商談は減少しなかった。

**(協)土岐美濃焼卸センター** 組合員17社で上海展示会に出展した。中国では日本製品は評価が高い。一般向けではなく、割烹向けなどの評判が良かった。肥田の小皿などは、品質、価格でも勝負できる。あとは輸送コストを下げるため本格

的に取り組むかどうか。中国は白い陶器のみのため、絵柄付きなど女性に評価された。

**駄知小売商業(協)** テント市など積極的に取り組んでいる。また、役員が新規事業を実施しようと検討中。

### 《飛騨会場》3月17日(水)・高山市民文化会館(高山市)

**高山米穀(協業)** 食糧管理法が廃止され、自由化されたことで競合相手の進出もあり市場が奪われている。現在の食糧法は、有事の際の食糧管理のための法律となっている。オール電化により灯油販売も厳しい状況。国の施策の住宅エコポイントでオール電化に拍車がかかるのではと苦慮している。

**高山市公設市場買受人(協)** 35年を経過し、組合員数は半減した。国への要望として、山間部地域のメインは観光産業であり、ハード面の整備は継続的に必要。中央会への要望として、組合の事業収入が得られる事業があれば教えて欲しい。

**(協業)H・C建設** 建設業は厳しく、建設業の林業進出が言われている。現在の組合定款では林業の追加が出来ない。補助金事業に取り組むに当たっては、情報提供してもらいたい。

**(協業)高登建設** 国から、中小企業者に関する国等の契約方針が出されているが、一般競争入札のみで指名競争入札がなくなってきており、協業組合としてのメリットがない。飛騨地域では、道路などハード面の整備が必要であり、大雪や災害になると地域建設業の力が必要になるが、建設業は疲弊している。

**南城建設(協)** 組合員は59社から50社に減少。組合員は本業である建設業以外の事業への進出などに取り組んでいる。組合の新分野進出がスムーズにできるよう弾力的運用を期待する。

**飛騨のさるぼぼ製造(協)** お土産品は観光に影響され、先行きが暗い。組合内では「品位を下げない」「過当競争をしない」「岐阜県以外に卸さない」という3つの約束を決めている。県外の大手企業がみやげ品を出しているが、雇用だけが地元のためになっている。地場のみやげ品を地場で開発し地場で売っていく仕組みづくりが必要である。

**飛騨外食産業(協)** 専門的知識などについて誰に聞いたらいいのか分からない。具体的には中小商業活力向上事業補助金、戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金について知りたい。

**飛騨美濃鶏ちゃん(協)** 中央会の「地域資源組合産品フェスティバル」で金山総合駅に出展させてもらったが、良い内容であった。県から差別化したブランドにするよう指導があり、組合で統一ラベルを作った。今後は新商品の企画共同開発、共同物流にも取り組みたい。

**飛騨高山民宿(協)** 経営者の高齢化、めまぐるしい変動に対応できない組合員が多い。国への要望として、高速道路無料化、消費税などは実行すべきでない。中央会への意見は、海外を見るのが遅いのでは。

**高山管設備工業(協)** 組合員企業は厳しい状況。民間の宅地が動かず、建築もないため受注がない。この懇談会はせつかくの機会なのでもっと時間を取って欲しい。

**飛騨ビルメンテナンス(協)** 使用している設備に関する教育など組合員の従業員教育を行っている。組合員の受注状況は厳しい。組合会館や企業事務所の清掃の要望があれば当組合までご一報いただきたい。

**飛騨印刷(協)** 50年を経過し、組合活動に少々疲れた感がある。組合員も減少した。印刷業者でもベトナムに進出している企業もあり、海外進出もできるのだと感じている。

**(協)飛騨木工連合会** 「飛騨の家具」で地域団体商標登録をし、組合で家具の基準を作った。組合員の中で中国大連の展示会に4社出展したが、なかなか成果は上がらない。輸出は1%で、99%は国内取引である。

# 理事会、役員意見交換会を開催

中央会は、理事会及び役員意見交換会を4月21日に県民ふれあい会館で開催した。

開会にあたり、社会長より「22年度は、昨年度同様厳しい中で、これからの“活路開拓”が重要である。10月にはAPEC中小企業大臣会合が岐阜県で開催される。中小企業にとってはPRのチャンスであり、これを活かしていくとともに、ジェットロとの関係を深め、国際化にもチャレンジしていきたい」とあいさつ。さらに、「組合のニーズに応えるパートナーとして、本会を一層活用していただくため、“一歩踏み込んだ戦略支援”を目指し、組合支援を行う」と、22年度の中央会活動について抱負を述べた。

続いて、第55回通常総会への提出議案等の審議が行われ、すべて原案どおり承認された。

なお、新規加入組合は次のとおり（平成21年11月27日～平成22年4月20日まで）。※（ ）内は所在地、組合員数。

▽可児市建設業（協）（可児市、19名）▽いび森林資源活用センター（協）（揖斐川町、11名）▽岐阜市旅館ホテル（協）（岐阜市、17名）

引き続き、意見交換会に移り、業界の現状・課題等について意見が述べられた。

## 川崎岐阜（協） 市原敬夫専務理事

ボーイング787、次期固定翼哨戒機（PX）、次期輸送機（CX）の3つのプロジェクトが動き出した。量産までには時間がかかるが、一番心配なのは数が多くなったときのコストダウンを要求されること。いかにコストを合わせていくかが、我々中小企業の下請けとしてのこれからの課題である。県組合士協会の会員が少ないので、各組合の事務局の方は組合士の資格を取得してほしい。

## 物流ネットワーク中部（協） 大野秀穂理事長

運送業は、製造業の景気が回復してから半年後に利益が出てくる業界。逆に景気が悪くなる時は、どこよりも先に悪くなる。来年には景気は良くなるだろうという見込みをつけている。全国に126の運送関係の組合があるが、取引数においてここ5年ほど1番である。

## 飛騨高山旅館ホテル協同組合 堀 泰則理事長

昨年、高山への観光客は約400万人。前年比4.3%減。宿泊も8%減。外国人観光客が増加しており、特にヨーロッパからの観光客は前年比プラス。一方で、昨年の外国人宿泊者数は減少している。今年度、外国人観光客は増える予想しているが、日本人の宿泊が伸びておらず前年比13%ほど落ちており厳しい状態が続いている。

## 岐阜県中小企業青年中央会・山岡利安会長

鶺鴒はミシュランガイドブックで一つ星がしたが、これによる外国人増加にはつながっていない。鶺鴒は質を重視することを目指しており、満足度やリピーター率は上がっている。

## 岐阜県銘木協同組合 篠 政廣理事長

2年前に、組合で全国銘木展示大会を開催し、巨木が全国から集まり大盛況であったが、現在、銘木業界は、銘木を利用する木造住宅着工戸数の減少など銘木需要の減少や販売価格の低迷など厳しい状況が続いている。

## 岐阜県木材協同組合連合会 藤沢 茂参与

県産材を使用した木造住宅建築に対し20万円の県助成金が出る支援制度がある。新設住宅戸数が今まで全国で年間100万戸あったが、現在は80万戸を割っており、木材業界は厳しい状態である。木材利用の多くは住宅建築であるため、住宅建築が増えないと、木材利用は増えない。

## 岐阜県ニット工業組合 川島誠之理事長

現在の国内の安売り競争には太刀打ちできないため、多くの繊維製造業者は、海外で調達する業態をとっている。近年、中国だけではなく、自由貿易協定を結んでいるインドネシアやマレーシアなどから物を調達しようとする傾向がある。今、日本で残っている仕事は「難しい」「ロットが小さい」「緊急を要する」という三重苦のものを作らされており、産地という形態がどんどんなくなってきている。組合員数も60社から30社へと半減。また、各社毎年2～3割ずつ売上が減っている。今年にかけて、もう1回不況の風が吹くのではないかと危惧している。

# 組合等の動き

## 岐阜メンズファッション工業組合（野口千寿雄理事長）

### 組合創立50周年記念懇親会を開催

岐阜メンズファッション工業組合は、5月14日に岐阜市の岐阜グランドホテルで組合創立50周年記念通常総会懇親会を開催し、約65名が出席した。

開会にあたり、野口理事長は「50周年を機に、新たな飛躍と発展を図っていきたい。今後も引き続きご支援、ご指導いただきたい」と決意を述べた。

来賓として出席した中央会辻正会長は、「繊維産業は、これまで岐阜県の産業を引っ張ってきた。中小企業が力を合わせて立ち上がり、今後も岐阜県の産業を牽引していただきたい」と激励した。



# 東濃支所だより



## 東濃各地で春の陶磁器まつり

美濃焼産地では春と秋の年2回陶磁器まつりのイベントが各地で開催されますが、4月から5月にかけて各地で開催された春の陶磁器まつりをご紹介します。

4月10日、11日には「第58回多治見陶器まつり」が多治見市本町のオリベストリート一帯で開催され、陶磁器の卸商社や窯元など43社が51のテントを並べ、茶碗や皿など美濃焼の製品を格安で販売されていました。

17日、18日にはセラトピア土岐とその周辺で「第14回TOKI-陶器祭り」が開催され、約40ブースが並び、絵付け体験コーナーや陶芸作家の抹茶茶わんで飲む茶席も設けられ、大勢の陶器ファンで賑わいました。

5月3日～5日のゴールデンウィーク期間中、土岐市泉北山町の織部ヒルズで、日本三大陶器まつりの一つ「第34回土岐美濃焼まつり」が開催されました。土岐美濃焼卸商業団地内の30社が倉庫を解放する蔵出し市のほか、市内の企業等が約200のテントを連ね、和洋食器を市価の3～5割引きで販売、3日間で約35万人の人出で賑わいました。

そのほか、3日、4日には土岐市駄知町で「だち窯やまつり」、泉町で「定林寺まつり」が開催されました。だち窯やまつりでは11の窯元が自慢の作品を展示、夜には灯籠と1,500本のろうそくでライトアップする中、灯りと窯やの野外コンサートや二胡演奏も行われるなど、趣向を凝らした内容でした。

東濃各地の陶磁器まつりは美濃焼産地として美濃焼を堪能できるだけでなく、訪れた人たちを楽しませる内容が盛りだくさんです。秋にも多彩な陶磁器まつりが開催されますので、一度見に行かてはいかがでしょうか。



## 青年中央会通信

### 新会長に西松氏（県学校給食パン米飯(協)青年部）を選任

岐阜県中小企業青年中央会は、5月13日に「第36回通常総会」をホテルパークで開催した。平成21年度事業報告や収支決算をはじめ、平成22年度事業計画及び収支予算などを審議し、いずれも原案どおり可決・承認された。

また、任期満了に伴う役員改選も行い、会長として2期4年を務めた山岡利安氏が退任され、新会長に西松敦氏（県学校給食パン米飯(協)青年部）を選任した。西松会長は、就任にあたり「異業種グループの強みを活かし、青年中央会の各種事業を通じて、お互いのビジネスにつながるような活動を展開していきたい。」とあいさつした。

また、副会長には新任3人を含む5人を選任し、理事並びに監事とともに役員一丸となって、新しい体制の下に、青年中央会の事業活動を進めていくこととなった。

平成22年度は「青年部の力を結集し、時代を創る！」をキャッチフレーズに、①組合青年部活動への支援、②会員相互の連携による、新たなネットワークの構築への支援、③青年中央会、組合青年部活動等のPRに重点を置き、各事業を行うこととしている。

なお、新役員並びに総会については、ホームページ（<http://www.chuokai-gifu.or.jp/seichu/>）をご覧ください。



西松新会長

**岐阜県中小企業青年中央会 会員募集中！**

当会の詳細やお問い合わせ、加入希望の組合青年部は、中央会・国際チーム(058-277-1102)まで。

# 景況レポート

平成22年  
4月末  
調査  
(前年同月比)

中小企業団体情報  
連絡員70名（うち  
69名分の集計）の  
情報連絡票から

※本年4月より、調査対象となる業種構成及び情報連絡員の数を見直し、情報連絡員数を85名から70名に変更いたしました。このため、当月は各調査DI値において、若干数字の変動がありますが、大きな業種区分の変更は行っておりません。

## 〔I〕4月の特色

◆景況DI値 2ポイント改善  
～マイナス53～

## 〔II〕4月の概況

4月の景気動向を前年同月比景況感DI値で見ると、好転7、悪化60でDI値はマイナス53となり、前月のマイナス55に対し、2ポイントの改善となった。

景況感が好転した業種はプラスチック、石灰、県金属工業団地、生花販売、産直住宅（東白川地区）で、景況感が悪化した業種は42業種となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス23で前月比19ポイントの大幅な改善、販売価格DI値はマイナス37で前月比6ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス45で前月比13ポイントの大幅な改善、資金繰りDI値はマイナス39で前月比4ポイントの改善となり、全ての主要調査項目において改善となった。

コメントから、一部の業種より「天候要因（寒い日が多かったこと）により売上が良くなかった」との報告があるが、「新規取引先が増え、受注量が増加した」、「設備操業度が上昇」、「工事量に回復の兆しが現れる」、「上昇の気配が感じられる」など、先行きに期待を寄せるコメントも寄せられている。

他には、紙関係、機械・金属関係から原材料・燃料価格が上昇しており、今後の懸念材料の一つとなっているとの報告も寄せられている。

### <主な調査項目での動向>

**売上高の動向**は、前年同月比で増加20、減少43でDI値はマイナス23となり、前月のマイナス42に対し、19ポイントの大幅な改善となっている。昨年11月から6ヶ月連続の改善結果となった。

売上増加と回答した報告の中には、「昨年4月はインフ

エンザの影響で売上不振であったため、当月はその影響分が回復した」、「イベントによる一時的な売上増加」などの報告もあるが、今回、大きく改善した主な要因は、悪化回答から不変回答への変化によるものである。

売上が増加した業種は、米菓、ニット工業、製材、プラスチック、石灰、県金属工業団地、可児工業団地、輸送用機器、陶磁器産地卸、機械・工具販売、生花販売、長良川畔旅館、建築板金、産直住宅（東白川地区）となっている。

売上が減少した業種は、30業種あり、特に窯業・土石、サービス業、建設業に減少が多い。

**販売価格の動向**は、前年同月比で上昇7、低下44でDI値はマイナス37となり、前月のマイナス43に対し、6ポイントの改善となっている。

販売価格が上昇した業種は、陶磁器産地卸、機械・工具販売、青果販売、水産物商業、石油製品販売となっている。

販売価格が低下した業種は31業種あり、特に一般機械、商店街に低下が多い。

**収益状況の動向**は、前年同月比で好転8、悪化53でDI値はマイナス45となり、前月のマイナス58に対し、13ポイントの改善となった。売上高の動向と同じく、6ヶ月連続で改善している結果となっている。

収益状況が好転した6業種は、米菓、プラスチック、石灰、県金属工業団地、生花販売、産直住宅（東白川地区）である。

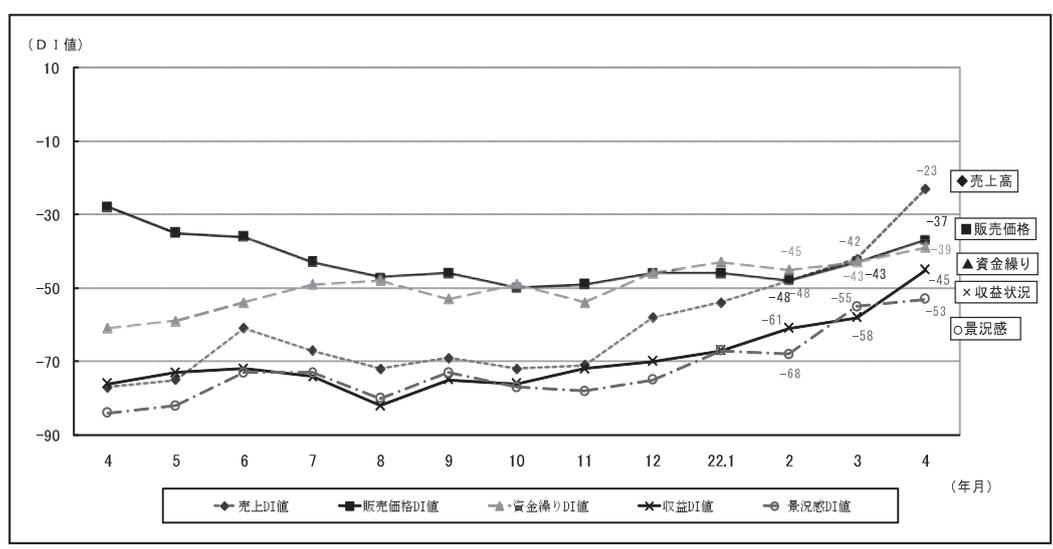
収益状況が悪化した業種は37業種あり、特に繊維・同製品、窯業・土石、商店街、建設業、運輸業に悪化が多い。

**資金繰りの動向**は、前年同月比で好転4、悪化43でDI値はマイナス39となり、前月のマイナス43に対し、4ポイントの改善となっている。

資金繰りが好転した業種は、3業種となっており、東濃ひのき、輸送用機器、産直住宅（東白川地区）である。

資金繰りが悪化した業種は30業種あり、特に窯業・土石、建設業、運輸業に悪化が多い。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、景況動向 DI 値の推移 (前年同月比)



# 県内中小企業主要業種の景気動向

(4月末調査)

製造業							非製造業								
区分	業種	調査項目					景況感	区分	業種	調査項目					景況感
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員				売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	
食料品	牛乳・乳製品	△	▲	▲	△	△	▲	卸売業	電設資材卸	△	▲	▲	▲	△	▲
	食肉(国産)	△	▲	△	△	△	△		陶磁器産地卸	○	○	▲	△	△	△
	菓子菓米製	△	△	△	△	▲	▲		機械・工具販売	○	○	△	△	△	△
	麺	△	△	○	△	△	△		青果販売	△	○	△	△	△	▲
繊維・同製品	ニット工業物	▲	△	▲	▲	△	▲	小売業	水産物商業	▲	○	▲	▲	—	▲
	毛織物	○	△	△	△	△	△		家電機器販売	△	▲	▲	▲	△	▲
	合成繊維織物	▲	▲	▲	▲	▲	▲		メガネ販売	△	▲	△	△	▲	▲
	メンズアパレル	▲	△	△	△	△	△		中古自動車販売	▲	▲	▲	▲	△	▲
	婦人・子供服	▲	▲	▲	△	△	▲		石油製品販売	△	○	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	△	▲	▲	▲	▲	△		共同店舗(飛騨)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
木材・木製品	製材	○	△	△	△	△	△	商店街	岐阜市商店街	△	▲	▲	△	△	▲
	銘木	▲	▲	△	△	△	▲		大垣市商店街	△	△	△	△	△	△
	製材・素材生産	△	△	△	△	△	△		高山市商店街	△	▲	△	△	△	△
紙紙加工品	濃ひのき	△	△	△	○	△	▲	サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	△
	機械すき和紙	△	△	△	△	△	△		長良川畔旅館	○	△	△	△	△	△
	特殊紙	△	▲	△	△	△	▲		下呂温泉旅館	—	—	—	—	—	—
印刷	紙加工品	▲	△	▲	▲	△	▲		高山旅館	▲	▲	▲	▲	△	▲
	印刷	▲	▲	▲	▲	▲	▲		クリーニング	▲	△	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	○	▲	○	△	○	○		広告美術	△	△	△	△	△	△
	窯業・土石	▲	▲	▲	▲	▲	▲		飲食業	▲	△	▲	△	△	▲
窯業・土石	窯業原料	▲	△	▲	▲	▲	▲		ビルメンテナンス	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	石灰	○	△	○	△	○	○		理容・美容業	▲	△	△	△	△	△
	生コンクリート	▲	△	▲	▲	▲	▲		建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	▲	▲	▲
	砂利生産	▲	▲	▲	▲	△	▲	土木(飛騨地区)		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	砕石生産	▲	▲	▲	▲	△	▲	建築設計		▲	▲	▲	▲	▲	▲
鉄鋼・金属	铸件	△	▲	▲	△	▲	▲	鉄構造物		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	刃物等金属製品(輸出)	▲	▲	▲	▲	▲	▲	電気工事		△	△	△	▲	△	△
	刃物等金属製品(内需)	▲	△	△	△	△	△	管設備工事		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	メッキ	△	△	△	△	△	△	建築板金		○	△	△	▲	▲	▲
一般機械	県金属工業団地	○	▲	○	△	▲	○	木製建具	▲	▲	▲	△	△	▲	
	可児工業団地	○	▲	△	△	▲	▲	産直住宅(東白川地区)	○	△	○	○	△	○	
	金型	△	△	△	△	△	△	運輸業	貨物運送(県域)	△	▲	▲	▲	▲	▲
輸送用機器	○	△	△	○	▲	▲	軽運送		▲	△	▲	▲	▲	▲	

凡例 ○:[増加],[上昇],[好転],[拡大]  
 △:[不変]  
 ▲:[減少],[下降],[悪化]

※中小企業団体情報連絡員70名(うち69名分の集計)を対象にまとめたものです。

頑張っている仲間達

## 中央会の会員組合を紹介します！



本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。

### 関金属工業協同組合

■理事長:兼松誠吾 ■組合員数:64社 ■設立年月日:昭和27年4月27日  
■住所:岐阜県関市小瀬南1丁目6番10号 ■TEL:0575-22-0875 ■FAX:0575-22-0877

#### ☆兼松理事長に聞きました☆

当組合では、今年度、関市下之保にある「道の駅平成」内の一角を展示販売スペースとして確保して「関の刃物」(刃物製品)の委託販売とPRを行うほか、屋外での販促イベントに取り組むこととしています。

道の駅平成は、主要地方道関金山線沿いにあり、特産品等の販売や年間を通して各種イベントを開催しています。立ち寄り客数は年間65万人で、主に名古屋から下呂方面へ向かう観光客。収益も県内の道の駅の中でも上位にランクされるなど、県内有数の道の駅です。この道の駅平成で物販等を受託している(株)エコピア平成では、当駅を関の地場産業のPRスポットにすることを目指しており、刃物製品を積極的にPRしていきたいと考えている組合との思いが一致し、取り組むこととなりました。

今年度、商品の委託販売に参画する組合員は11社。この取り組みを進めていくにあたり委員会を立ち上げ、販売方法、在庫管理、商品選定等について検討を重ねてきました。中央会もコーディネーター派遣など人的支援を行っています。

兼松理事長は「地域資源でもある関の刃物のPR、組合員企業のPR、販売促進につながる良い機会。組合として行政、中央会の協力を得ながら取り組んでいきたい。さらにこの取り組みをきっかけに組合の活性化につながれば」と話しています。

エントリー各社の販売商品の選定も終わり、今後、ディスプレイ方法の最終調整等を行い、6月中には販売をスタートさせる予定です。



### 武芸川町特産品開発企業組合

■理事長:杉山ミサ子 ■組合員数:6人 ■設立年月日:平成12年1月24日  
■住所:岐阜県関市武芸川町谷口1223番地 ■TEL:0575-46-1391 ■FAX:0575-46-1391

#### ☆杉山理事長に話を聞きました☆

当組合は、地元である旧武儀郡武芸川町(関市武芸川町)の農業婦人クラブで栽培された、栄養価の高い植物「つるむらさき」を使用し、製品化した「つるむらさきうどん」を製造、提供する企業組合です。平成12年4月に飲食店「つるや」をオープンし、今では、つるむらさきうどんは地元の特産品として認知されています。また、築100年以上の古民家を改修した店構え、地元で採れた新鮮な素材等を使った料理を提供する「こだわり」が店舗のオリジナリティを演出しており、つるやの評判は口コミで広まってきました。

平成19年度には、全国中央会の「中小企業組合等活路開拓事業」に取り組み、組合ビジョンを策定。「地産地消」「地域貢献」「来店者に優しい店舗」をキーワードに、今後の店舗の方向性と独自性を再確認。平成21年度には、岐阜県の観光振興につながる新しい地域資源として岐阜県の「じまんの原石」にも認定されています。そのほか、食育の一環として地元の親子等を対象としたうどんづくり体験ツアーを開催し、地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

一方で、平成20年7月に東海北陸自動車道が全通し、さらに高速道路料金の土日祝日1,000円が始まったことで、名古屋周辺からの来店客が減り、つるやの売上にも影響が出ています。こうした状況に対し、「まずは、つるむらさきの知名度を向上させたい。また、助成金を活用してつるむらさきうどんの販路開拓にも取り組んでみたい。他にも店舗の経営診断、つるむらさきを紹介する小冊子の作成、来店客向けの看板の設置など、取り組みたいことは山ほどあります。」と杉山理事長。厳しい中でも無理せずできることから取り組んでいくことで、経営の安定、店舗の活性化を実現させたいとのこと。

なお、昨年12月に金華山麓の岐阜公園内に公園の紹介等を行う総合案内所がオープンしましたが、つるむらさきうどんは、つるや以外でもこの案内所内の飲食コーナーで食べることができます。一度ご賞味ください。





## 各種保険料率の変更<増加>にご留意を！

～ 社会保険料等、社外流出の見直しを！ ～

特定社会保険労務士・行政書士 岡本 真仁

厳しい経済情勢下、企業また労働者を巡る環境は益々厳しさを増している状況にあります。

そうした中、文末資料のように各種保険料率が大きく変更<増加>されました。

### 1. 保険料負担はどれくらい増加したか？

岐阜県下の建設業における年収350万円(介護保険該当)を想定すると、概算で以下のように年額負担が増大することになります。

	(会社負担)	(従業員負担)
健康保険料	25,550円	25,550円
雇用保険料	8,750円	7,000円
合 計	34,300円	32,550円

### 2. 給与計算は適正に修正されましたか？

**されていない場合、企業負担増加のおそれが！**

適正な控除は、法律が当然要求していますが、企業経営上注意すべきことを確認したいと思います。

それは、増額された保険料を適切に修正しなければ、企業負担額が増加してしまうことです。

源泉所得税の誤りは年末調整により精算され、かつ企業負担がありません。そのため、誤解をおそれずに言えば、あまり大きな問題とならないかもしれません。

しかし、労働保険の年度更新時や社会保険料の請求額と突き合わせしない限り、各種社会保険料の徴収不足はそのまま企業負担となってしまいます。

### 3. 経営数値・資金計画への反映をお忘れなく！

厚生年金保険料(厚生年金基金は別料率の可能性があります)についても、平成22年9月分から、<16.058% ← 15.704%>の変更が予定さ

れています。なお、この0.354%の増加は毎年行われ、少なくとも平成29年(18.30%)まで上がり続けることが決定しています。

これら社会保険料の企業負担額は、企業経営に大きな影響を与えます。

是非とも、今回の保険料の引き上げをはじめ、今後の保険料の増加に伴う人件費負担増について、確実に経営数値・資金計画への落とし込みをお願いいたします。

### 4. 社会保険料(源泉所得税・住民税)等、社外流出の見直しを！

赤字決算であるにも関わらず、また役員から会社への貸付があるにも関わらず、その返済を行うことなく、高額なままの役員報酬等を払い続けていたという事例を、最近立て続けに見受けました。

貸付金の返済であれば、社会保険料、そして源泉所得税・住民税は課税されません。

また、年金受給権がある方は、役員報酬等を下げる(社会保険料も下がる)ことにより、年金額が増加する(支給停止でなくなる)という特典が受けられる可能性もあります。

日本の90%を超える小規模企業の多くは同族会社であり、その経営のキモは、いかにキャッシュの社外・一族外流出(税金や保険料支出)を防ぐか、そして、いざとなった際にはその蓄財を投じて経営を安定させることにあることでしょう。

是非とも、上記のような例に限らず、経営数値・税金・社会保険等多面から、役員報酬等そして社会保険料等の見直しをお勧めいたします。

● 健康保険 (全国健康保険協会)		労使折半 (%)	
介護保険該当	10.84	←	9.38
介護保険非該当	9.34	←	8.19
● 雇用保険		(労働者負担)	(事業主負担)
一般の事業	15.5/1000 ← 11/1000	6/1000 ← 4/1000	9.5/1000 ← 7/1000
農林水産等	17.5/1000 ← 13/1000	7/1000 ← 5/1000	10.5/1000 ← 8/1000
建設業	18.5/1000 ← 14/1000	7/1000 ← 5/1000	11.5/1000 ← 9/1000

～ 中小企業 事業主の皆さまへ ～

再生等支援事業のご案内

岐阜県より

今後の事業の方向性について、お悩みをご相談ください

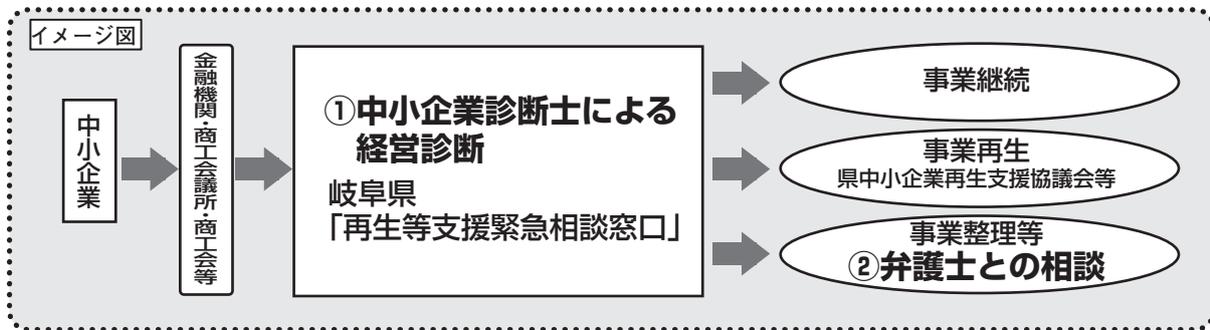
- ① 中小企業診断士が、皆さまを直接訪問して経営診断を行います(診断費用は県が全額負担)
- ② 診断の結果、必要に応じて弁護士との相談を行います(相談費用は県が一部負担)

対象となる方

岐阜県内に事業所又は工場がある中小企業者のうち、創業から20年以上経過し(平成2年以前に創業)、厳しい経済状況の中で、「事業継続か」、「事業再生か」、又は「事業清算か」と、今後の事業の方向性にお悩みの方

お申込方法

原則、岐阜県内の金融機関、各商工会議所又は各商工会を通じてお申し込みください。  
(直接、下記の連絡先までお申し込みいただくことも可能です。秘密は厳守いたします。)



■お問い合わせ先

岐阜県商工労働部中小企業課 TEL 058-272-1111 内線3065.3066  
 下記ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。  
<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11363/yuushi/index.htm>

(独)中小企業基盤整備機構より

小規模企業共済制度、倒産防止共済制度が充実します

「小規模企業共済法の一部を改正する法律」及び「中小企業倒産防止共済法の一部を改正する法律」が第174回通常国会で成立し、平成22年4月21日に公布されました。これにより、各制度の内容が充実します。なお、改正の具体的な内容や施行日については、今後、政令等により定められます。

中小企業小規模企業共済制度の改正点

- ① 個人事業主の配偶者や後継者も加入可能 [平成22年度中に実施]

中小企業倒産防止共済制度の改正点

- ① 私的整理の場合でも共済金の貸付けが可能 [平成22年夏までに実施]
- ② 貸付けの最高額を3,200万円から8,000万円に引上げ [平成23年10月までに実施]
- ③ 貸付金を繰り上げて償還した完済者に対し、手当金を支給 [平成23年10月までに実施]

■お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構(中小機構) 共済相談室  
 TEL: 050-5541-7171 <http://www.smrj.go.jp>

# 事務局だよ！

## 春の叙勲、県知事表彰

### 叙勲

#### 【旭日中綬章】

滝 多賀男氏＝下呂温泉旅館協同組合・理事長、  
岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合  
・理事長(中央会理事)

#### 【旭日双光章】

足立範弘氏＝岐阜県自動車整備商工組合・元理事  
井上克彦氏＝岐阜県飲食生活衛生同業組合・元理事長

『春の叙勲』の受章並びに『県知事表彰』を受賞された中央会関係者の方々をご紹介します。

### 県功労者(県知事表彰)

#### 【産業経済】

衣斐茂光氏＝岐阜県石油商業協同組合・副理事長  
北村正敏氏＝岐阜県関刃物協同組合・理事長  
熊田幸夫氏＝日本輸出刃物工業組合・副理事長  
安田隆夫氏＝西濃電気工事協同組合・元理事長

## 職場実習を希望される方を募集しています！

### ～新卒者就職応援プロジェクト コーディネーター事業～

中央会では、中小企業の仕事現場に触れる機会を提供し、企業で働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を習得してもらうための長期間の職場実習(インターンシップ)を実施することにより、新卒者の雇用促進と中小企業の人材確保を支援する「新卒者就職応援プロジェクトコーディネーター事業」を実施しています。

本事業の対象となる方で、お知り合いで職場実習を希望される新卒者の方がおられましたら、ぜひ本会をご紹介ください。

#### ◆対象者

平成22年3月に大学等卒業で、就職先が未定者

(※大学等：高校、短大、大学(大学院含む)、高等専門学校、専修学校等)

#### ◆職場実習実施機関

大垣市鉄工協同組合、岐阜県金型工業組合、瑞穂市商工会

※職場実習は、上記実施機関の会員企業において行われます。

#### ◆実習

【期間】原則6カ月間

【内容】各実施機関の実習プログラムに沿って実施

#### ◆参加学生のメリット

職場実習期間を通じて働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を習得できます。

職場実習期間には適宜キャリアカウンセラー等の専門家からアドバイスが受けられます。

実習期間中(6ヵ月間)は、実習生には技能習得支援助成金として日額7,000円が支給されます。

#### ◆お問い合わせ先

岐阜県中小企業団体中央会  
労働支援チーム

TEL 058-277-1103

FAX 058-273-3930

## 中央会・通常総会のご案内

中央会では、第55回通常総会を下記のとおり開催します。今年度は役員改選を行い、議案審議終了後にはジエトロ岐阜貿易情報センターの西本敬一所長をお招きし、講演会を開催致します。多数のご参加をお願い致します。

お問い合わせは総務チームまで。

【日時】6月7日(月) 13:30～15:30

【場所】未来会館 3階「ハイビジョンホール」

【講演テーマ】

世界に売る魅力とは何か?

～米国向け日本食輸出を題材に～

## 中央会日誌



### <3月21日～31日>

- 23日 岐阜県中小企業再生支援協議会 全体会議(岐阜商工会議所(社)県社会福祉協議会 評議員会(県福祉・農業会館))
- 24日 (財)県産業経済振興センター 通常理事会(ふれあい会館) 全国中央会 理事会(ANAインターコンチネンタル東京)
- 25日 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会 常任理事会(じゅうろくプラザ)
- 30日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎) 県酒造組合連合会 岐阜県新酒鑑評会(グランヴェール岐山)

### <4月1日～30日>

- 1日 中小企業応援センター開所式(ふれあい会館)
- 6日 地域経済情報交換会(議会棟)
- 7日 財務行政モニター会議(岐阜合同庁舎)
- 14日 県学生就職対策連絡協議会 通常総会及び岐阜労働局と大学との懇談会(岐阜都ホテル)
- 16日 県地域産業保健センター運営協議会(県医師会館)
- 21日 中央会 理事会(ふれあい会館)
- 22日 駐マレーシア大使との意見交換会及びセミナー(ふれあい会館)

### <5月1日～20日>

- 13日 地域経済情報交換会(県庁) 青年中央会 第36回通常総会(ホテルパーク)
- 14日 岐阜メンズファッション(工組) 創立50周年記念通常総会懇親会(岐阜グランドホテル)
- 16日 岐阜県医薬品小売(商組) 創立50周年記念式典(岐阜会館)

# 経営上のお悩みは 岐阜県中小企業応援センター にご相談ください

平成22年4月1日より、財団法人岐阜県産業経済振興センター、岐阜県中小企業団体中央会、岐阜商工会議所（岐阜県商工会議所連合会）の3者が協力し、「岐阜県中小企業応援センター」を開設しました。コーディネーターが中心となり窓口で相談を行っています（相談無料）。また、組合等及び組合員企業における経営課題に応じた専門家派遣（原則3回まで無料）を実施しています。

ぜひご利用ください。

## 《支援内容》

- ①農商工連携
- ②地域資源活用
- ③新連携
- ④ものづくり支援
- ⑤経営革新
- ⑥創業
- ⑦事業再生
- ⑧再チャレンジ
- ⑨事業承継
- ⑩IT活用
- ⑪知的資産経営

## 《相談受付時間》

平日 午前9時30分～午後4時

岐阜県中小企業団体中央会（岐阜市藪田南5-14-53 県民ふれあい会館8階）

TEL:058-277-1101 FAX:058-273-3930 E-mail:center@chuokai-gifu.or.jp

## 《コーディネーター》

中央会に常駐しているコーディネーターをご紹介します。

氏名	プロフィール	担当曜日
 <p><b>志智 拓造</b> (しち こうぞう)</p>	東海地区の流通チャンネルや県内地場産業との取引実績、営業支援を行った実績を有する。	月
 <p><b>清水 弘</b> (しみず ひろし)</p>	中小企業診断士、社会保険労務士。中小企業の経営計画の作成、実績分析等数多くの支援実績を有する。	火
 <p><b>豊増 さくら</b> (とよます さくら)</p>	中小企業診断士。中小企業診断協会事業承継研究会等に所属する。事業承継分野で多くの支援実績があり、中小企業の経営支援に関する豊富な知識を有する。	水
 <p><b>長谷川 善一</b> (はせがわ よしかず)</p>	過去30年、県の試験研究機関において環境に配慮する企業活動のためのコンサルティングなど数多くの経営支援を行った実績を有する。	木